

科目名	実用英語 (TOEIC)		英文表記	Practical English (TOEIC)			2010/3/1 作成
教員名：青木久美、名嘉山リサ、高嶺司、大石敏広、鈴木伸子							
対象学科	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業方法	授業期間	
全学科	1年	必修	履修	2単位	演習	通年	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>YL1.0 程度の英文を目で追いながら、テープが読み上げるスピードで理解することができる速読力を身につける。</li> <li>一授業時間に前期 2000 語・後期 3000 語以上の多聴を行い、TOEIC Bridge の Listening 部門に対応できる聴解力を身につける。</li> <li>自己紹介の発表を通じて、簡単な内容を英語で表現することができるようになる。</li> </ul>						
高 専 目 標	1	2	3	4	JABEE プログラム名称		
	◎	○	○		JABEE プログラム教育目標		
授 業 概 要、 方 針、 履 修 上 の 注 意	<ul style="list-style-type: none"> <li>多読図書の音声教材や CD-ROM、DVD などのマルチメディアを利用した多聴学習および音読練習 (リピーティング・オーバーラッピング・シャドウイングなど) を行う。多聴語数は毎回、ログファイルに記録する。・英語で自己紹介をする (前期)。</li> <li>TOEIC の出題形式に慣れ、TOEIC Bridge IP テストに備える (後期)。</li> </ul>						
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期期末試験(20%)、後期期末試験(20%)、TOEIC Bridge IP テストリスニング部門:第一回(5%)、第二回(25%)、発表・音読の評価 10%×2=(20%)、多聴ログの記録結果(10%)</li> </ul>						
教 科 書 ・ 教 材	<ul style="list-style-type: none"> <li>多読図書および音声教材 (Oxford Reading Tree, Scholastic, Graded Readers など)</li> <li>マルチメディア教材 (Oxford Reading Tree CD-ROM (Stage2-5)、DVD など)</li> </ul>						
参 考 図 書	「英語多読完全ブックガイド」(コスモピア株式会社)、「今日から読みます英語 100 万語」(日本実業出版社)、ALC NetAcademy2 教材 (PowerWords)						
<b>授 業 計 画</b>							
授 業 項 目	時間	授 業 内 容					
授業のガイダンスとイントロダクション	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>シラバスを用いて、本年度の授業の到達目標、1年間の授業の進め方、評価の仕方、パソコンソフトの利用の仕方、多聴およびシャドウイングの方法とその効用について、担当教員から説明を受ける。</li> <li>パソコンを実際に動かして、自習用教材の PowerWords (ALC NetAcademy2) の使い方を学ぶ。</li> <li>SSS の HP の利用の仕方を学ぶ。</li> <li>多聴・シャドウイングの方法を学ぶ。</li> <li>TOEIC Bridge IP テストの説明</li> </ul>					
TOEIC Bridge IP テスト	2	全学生が、授業時間を利用して、TOEIC Bridge IP テストを受験する。					
発表	4	英語で自己紹介をする。					
多聴学習および音読練習	22	多聴学習とシャドウイングなどの音読練習を、一斉に、あるいは個別に行う。(一斉学習では、CD-ROM や DVD などのマルチメディア教材を用い、個別学習では多読図書と音声教材を用いる。)					
前学期期末試験	[1]						
多聴学習および音読練習	27	多聴学習とシャドウイングなどの音読練習を、一斉に、あるいは個別に行う。(一斉学習では、CD-ROM や DVD などのマルチメディア教材を用い、個別学習では多読図書と音声教材を用いる。)					
TOEIC Bridge IP テスト準備	1	TOEIC Bridge IP テストの説明。「TOEIC Bridge 公式ガイド&問題集」を用いて TOEIC Bridge テストの形式に慣れるための練習を行う。					
TOEIC Bridge IP テスト	2	全学生が、授業時間を利用して、TOEIC Bridge IP テストを受験する。					
後学期期末試験	[1]						
学習時間合計	60	実時間			50		